

# 山形県立楯岡特別支援学校 校長室だより

令和8年4月27日(月)

## No.13

校長: 古原 常能

楯岡特別支援学校の校長を拝命し3年目を迎えました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝します。今年度も、子ども一人一人の成長を支援し、様々な可能性や良さを発揮できるよう教職員と一緒に最善を尽くします。どうぞよろしくお願い致します。



## 令和8年度の主な事業について

今年度の年間行事予定を本校、分校で配付しております。儀式、授業参観、個別面談、引き渡し訓練、運動会、スポーツ大会、学習発表会、大江校祭、中・高販売会、職場見学、現場実習、PTA 研修会、短縮日課など、関係する行事の期日についてご確認ください。

また、県教育委員会の関連事業をご紹介します。本校の初任者研修(4名)と拠点校指導員の配置、医療的ケアと学校看護師の配置、就労支援とコーディネーターの配置、寒河江校と大江校の本校化を議論する有識者検討委員会の設置、高等部入学者選考の改革にむけた検討会議など。加えて、4月に公用車(ホンダ フィット 4WD)が納車されました。山形県においても、楯岡特別支援学校に対する関心が高く、多額の予算を入れていただいたことに感謝しております。

## 大地震などの自然災害時の対応を考える(その2)

「校長室だより No.12」で大地震などの自然災害時の対応について話題提供をしました。新入生保護者の皆様は、楯岡特別支援学校のホームページでご覧になれます。学校内にも掲示しておりますので、ご確認ください。

さて、令和8年に入り、1月6日に島根県東部で震度5強、4月18日に長野県北部で震度5強、4月20日に三陸沖で震度5強の大きな地震が3つも発生しています。山形県においても、いつ大地震が起こるか分かりません。そして、大地震が起こると、校内の物品が散乱し、施設・設備の破損等が生じます(裏面)。通常の学習ができなくなることはもちろん、子ども達の安全確保も難しくなります。

そこで、昨年度から検討を重ね、楯岡特別支援学校の対応について以下のように整理しました。本校、分校のPTA 総会で保護者の皆様に説明し、ご理解を得た後に実施したいと思います。

大地震の基準は**震度5強以上**

- \* 在校中に震度5強以上の地震が発生 …… 授業を中断し、保護者へ引き渡し
- \* 下校後から24時まで震度5強以上の地震が発生…翌日を一齐臨時休校
- \* 0時から8時30分までに震度5強以上の地震が発生…当日を一齐臨時休校



引き渡しや登校再開のご連絡は、[マ・メール](#)等で行います。

さらに、本校も分校も、冷房や暖房はエアコン、学習機器や照明等も電気に頼っています。自然災害等による長時間の停電が起こると、夏季や冬季における校内環境が維持できなくなる恐れがあります。それで、長時間の停電になった場合も一齐臨時休校とし、引き渡しのご連絡をします。

# 資料

## 地震の震度とゆれの状況（気象庁より）

<p><b>0</b></p>  <p><b>【震度0】</b> 人は揺れを感じない。</p>	<p><b>1</b></p>  <p><b>【震度1】</b> 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p><b>2</b></p>  <p><b>【震度2】</b> 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p><b>3</b></p>  <p><b>【震度3】</b> 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p><b>4</b></p>  <p><b>【震度4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ほとんどの人が驚く。</li> <li>●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</li> <li>●座りの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6弱</b></p>  <p>耐震性が高い      耐震性が低い</p> <p><b>【震度6弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。</li> <li>●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul>		
<p><b>5弱</b></p>  <p><b>【震度5弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>●棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6強</b></p>  <p>耐震性が高い      耐震性が低い</p> <p><b>【震度6強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。</li> <li>●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul>		
<p><b>5強</b></p>  <p><b>【震度5強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物につかまらなると歩くことが難しい。</li> <li>●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。</li> <li>●固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>●補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>	<p><b>7</b></p>  <p>耐震性が高い      耐震性が低い</p> <p><b>【震度7】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。</li> <li>●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</li> </ul>		

この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。

詳しい解説は以下の気象庁ホームページに掲載しています。

気象庁震度階級関連解説表 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/kaisetsu.html>